



*Better Health, Brighter Future*

# 2017年度 DATA BOOK

武田薬品工業株式会社(証券コード：4502)

お問い合わせ先 グローバルファイナンスIR

TEL：03-3278-2306

<https://www.takeda.com/jp>

決算データ

<https://www.takeda.com/jp/investors/reports/>

---

## もくじ

---

I. 業績の状況	
1. 連結純損益計算書等	1
2. 地域別売上収益の状況	
◆ 連結売上収益	3
◆ 連結医療用医薬品売上収益	3
◆ 医療用医薬品 グローバル主要品目売上高	5
3. 連結財務状態計算書	8
4. 連結キャッシュ・フロー計算書	10
5. 為替レート	11
6. 資本的支出、減価償却費および償却費、減損損失	12
7. 人員の状況	13
8. 株主の状況	14
9. 財務指標	15
II. パイプラインの現状	
1. 開発の状況	16-18
■ がん領域	
■ 消化器系疾患領域	
■ ニューロサイエンス（神経精神疾患）領域	
■ ワクチン	
■ その他	
2. 最近のステージアップ品目	19
3. 開発中止品目	20
4. 外部導出を通じたバリュークリエーション品目（候補品目）	20
5. 共同研究開発活動	21-23
■ ホームページで開示している臨床試験情報	23
Appendix	
◆ 医療用医薬品 米国主要品目売上高（現地通貨ベース）	24
◆ 医療用医薬品 国内主要品目売上高	26
◆ 一般用医薬品 主要品目売上高	28

# I. 業績の概況

## 1. 連結純損益計算書等

	15年度	16年度	17年度	対前年同期		18年度見込 (注4)
売上収益	18,074	17,321	17,705	385	2.2%	17,370
知的財産権収益・役務収益	565	601	767	166	27.5%	
売上原価 (注1)	5,352	5,588	4,959	△628	△11.2%	
<率>	<29.6%>	<32.3%>	<28.0%>	<△4.3pt>		
売上総利益	12,722	11,733	12,746	1,013	8.6%	
<率>	<70.4%>	<67.7%>	<72.0%>	<4.3pt>		
販売費及び一般管理費 (注1)	6,508	6,191	6,281	90	1.5%	
<率>	<36.0%>	<35.7%>	<35.5%>	<△0.3pt>		
研究開発費 (注1) (注2)	3,358	3,123	3,254	131	4.2%	3,110
<率>	<18.6%>	<18.0%>	<18.4%>	<0.4pt>		<17.9%>
製品に係る無形資産償却費及び減損損失 (注2)	1,318	1,567	1,221	△346	△22.1%	1,080
その他の営業収益 (注1)	213	1,435	1,694	259	18.0%	650
固定資産売却益	1	8	188	181	-	555
条件付対価に係る公正価値変動額	56	184	-	△184	-	
和光純薬工業株式会社の株式譲渡益	-	-	1,063	1,063	-	
長期収載品事業の事業譲渡益	-	1,154	275	△879	△76.2%	45
その他	157	90	168	78	87.1%	
その他の営業費用	444	729	1,266	537	73.6%	655
事業構造再編費用 (注3)	258	546	447	△99	△18.1%	405
為替換算調整勘定の実現による損失	-	-	417	417	-	
その他	112	126	401	218	119.3%	
営業利益	1,308	1,559	2,418	859	55.1%	2,010
<率>	<7.2%>	<9.0%>	<13.7%>	<4.7pt>		<11.6%>
金融収益	216	123	395	273	-	
受取利息および受取配当金	56	53	64	12	22.7%	
売却可能金融資産売却益	151	36	304	268	-	
為替差益 (デリバティブ評価益を含む)	-	19	14	△5	△24.3%	
その他	9	15	12	△3	△17.2%	
金融費用	319	232	319	87	37.3%	
支払利息	53	76	100	25	32.8%	
条件付対価に係る公正価値変動額	76	22	23	0	1.7%	
売却可能金融資産減損損失	23	37	67	30	81.9%	
為替差損 (デリバティブ評価損を含む)	140	54	103	49	89.4%	
その他	27	44	27	△17	△38.5%	
持分法による投資損益	△0	△15	△322	△307	-	
税引前当期利益	1,205	1,433	2,172	739	51.5%	1,830
法人所得税費用	371	278	305	27	9.6%	
当期利益	835	1,155	1,867	712	61.6%	
<率>	<4.6%>	<6.7%>	<10.5%>	<3.9pt>		
親会社の所有者持分	802	1,149	1,869	719	62.6%	1,390
<率>	<4.4%>	<6.6%>	<10.6%>	<3.9pt>		<8.0%>
当期包括利益合計	△396	931	2,427	1,495	160.5%	
<率>	<△2.2%>	<5.4%>	<13.7%>	<8.3pt>		
親会社の所有者持分	△403	936	2,424	1,489	159.2%	
<率>	<△2.2%>	<5.4%>	<13.7%>	<8.3pt>		
<b>実効税率</b>						
国内の法定実効税率	33.0%	30.8%	30.8%	△0.0pt		
連結純損益計算書上の税率	30.7%	19.4%	14.0%	△5.4pt		

(注1) 2016年度に、従来、「その他の営業収益」に計上していた政府補助金について、対応する費用項目（「売上原価」、「販売費及び一般管理費」および「研究開発費」）から控除する方法へ変更しており、これに伴い、2015年度の政府補助金を組替えて表示している。この影響額は、2015年度年間、売上原価△2億円、販売費及び一般管理費△0億円、研究開発費△35億円。

(注2) 2016年度より、従来、「研究開発費」に計上していた、企業買収や製品・パイプラインなどの導入により取得した無形資産の償却費及び減損損失を「製品に係る無形資産償却費及び減損損失」に計上している。これに伴い、2015年度の関連する研究開発費を組替えて表示している。この影響額は、2015年度年間、研究開発費△66億円。

(注3) 効率的な事業運営体制の構築に向けた、従業員の削減や事業拠点の統廃合をはじめとする取り組みにかかる費用を事業構造再編費用として計上している。

(注4) 業績予想に関する注意事項については15ページ参照。

## ◆連結純損益計算書等（四半期）

(億円)

	16年度				17年度							
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
売上収益	4,340	4,168	4,650	4,162	4,482	3.3%	4,332	3.9%	4,882	5.0%	4,010	△3.7%
知的財産権収益・役務収益	124	167	198	112	303	144.1%	128	△23.4%	179	△9.9%	157	40.5%
売上原価（注1）	1,354	1,415	1,475	1,344	1,209	△10.7%	1,219	△13.8%	1,423	△3.5%	1,109	△17.5%
<率>	<31.2%>	<33.9%>	<31.7%>	<32.3%>	<27.0%>		<28.1%>		<29.1%>		<27.7%>	
売上総利益	2,986	2,753	3,176	2,818	3,274	9.6%	3,113	13.1%	3,459	8.9%	2,901	2.9%
<率>	<68.8%>	<66.1%>	<68.3%>	<67.7%>	<73.0%>		<71.9%>		<70.9%>		<72.3%>	
販売費及び一般管理費（注1）	1,450	1,460	1,484	1,797	1,459	0.6%	1,514	3.7%	1,591	7.2%	1,718	△4.4%
<率>	<33.4%>	<35.0%>	<31.9%>	<43.2%>	<32.5%>		<35.0%>		<32.6%>		<42.8%>	
研究開発費（注1）（注2）	765	754	718	885	757	△1.1%	794	5.3%	816	13.5%	888	0.3%
<率>	<17.6%>	<18.1%>	<15.4%>	<21.3%>	<16.9%>		<18.3%>		<16.7%>		<22.1%>	
製品に係る無形資産償却費及び減損損失（注2）	285	472	265	546	325	13.9%	244	△48.3%	295	11.3%	358	△34.4%
その他の営業収益（注1）	1,116	136	45	138	1,313	17.6%	56	△58.5%	270	-	55	△60.2%
その他の営業費用	73	112	200	344	97	32.5%	224	99.5%	148	△25.8%	797	131.6%
営業利益	1,529	91	554	△616	1,950	27.5%	394	-	879	58.9%	△805	△30.8%
<率>	<35.2%>	<2.2%>	<11.9%>	<△14.8%>	<43.5%>		<9.1%>		<18.0%>		<△20.1%>	
金融収益	25	24	39	35	135	-	6	△74.6%	76	96.5%	178	-
金融費用	54	57	59	62	100	85.5%	60	4.7%	68	15.1%	92	46.9%
持分法による投資損益	△4	△5	5	△12	△3	△25.8%	8	-	328	-	△655	-
税引前当期利益	1,497	53	538	△655	1,982	32.4%	347	-	549	2.0%	△707	△8.0%
法人所得税費用	493	△199	114	△130	533	7.9%	71	-	△131	-	△167	△29.0%
当期利益	1,003	253	424	△525	1,450	44.5%	277	9.6%	680	60.3%	△540	△2.8%
<率>	<23.1%>	<6.1%>	<9.1%>	<△12.6%>	<32.3%>		<6.4%>		<13.9%>		<△13.5%>	
親会社の所有者持分	995	248	414	△507	1,448	45.5%	280	13.1%	681	64.6%	△540	△6.5%
<率>	<22.9%>	<5.9%>	<8.9%>	<△12.2%>	<32.3%>		<6.5%>		<13.9%>		<△13.5%>	
当期包括利益合計	△520	79	2,328	△955	2,052	-	650	-	940	△59.6%	△1,215	△27.2%
<率>	<△12.0%>	<1.9%>	<50.1%>	<△23.0%>	<45.8%>		<15.0%>		<19.3%>		<△30.3%>	
親会社の所有者持分	△507	77	2,295	△929	2,048	-	651	-	938	△59.1%	△1,213	△30.6%
<率>	<△11.7%>	<1.8%>	<49.3%>	<△22.3%>	<45.7%>		<15.0%>		<19.2%>		<△30.2%>	
実効税率												
国内の法定実効税率	30.8%	30.8%	30.8%	30.8%	30.8%		30.8%		30.8%		30.8%	
連結純損益計算書上の税率	33.0%	19.0%	19.5%	19.4%	26.9%		25.9%		16.4%		14.0%	

（注1）2016年度に、従来、「その他の営業収益」に計上していた政府補助金について、対応する費用項目（「売上原価」、「販売費及び一般管理費」、および「研究開発費」）から控除する方法へ変更しており、これに伴い、2015年度の政府補助金を組替えて表示している。この影響額は、2015年度年間で、売上原価△2億円、販売費及び一般管理費△0億円、研究開発費△35億円。

（注2）2016年度より、従来、「研究開発費」に計上していた、企業買収や製品・パイプラインなどの導入により取得した無形資産の償却費及び減損損失を「製品に係る無形資産償却費及び減損損失」に計上している。これに伴い、2015年度の関連する研究開発費を組替えて表示している。この影響は、2015年度年間で、研究開発費△66億円。

## 2. 地域別売上収益の状況

### ◆連結売上収益

(億円)

	15年度	16年度	17年度	対前年同期	
売上収益合計	18,074	17,321	17,705	385	2.2%
日本	6,881	6,553	5,803	△750	△11.4%
<売上収益比率>	<38.1%>	<37.8%>	<32.8%>	<△5.7pt>	
米国	5,144	5,202	5,983	782	15.0%
<同比率>	<28.5%>	<30.0%>	<33.8%>	<4.2pt>	
欧州およびカナダ	3,093	2,797	3,137	340	12.2%
<同比率>	<17.1%>	<16.1%>	<17.7%>	<0.9pt>	
新興国	2,956	2,769	2,781	13	0.5%
<同比率>	<16.4%>	<16.0%>	<15.7%>	<0.5pt>	
ロシア/CIS	618	575	682	107	18.6%
<同比率>	<3.4%>	<3.3%>	<3.9%>	<0.9pt>	
中南米	684	725	757	31	4.3%
<同比率>	<3.8%>	<4.2%>	<4.3%>	<0.5pt>	
アジア	1,260	1,128	1,040	△88	△7.8%
<同比率>	<7.0%>	<6.5%>	<5.9%>	<△0.6pt>	
その他	394	340	302	△38	△11.2%
<同比率>	<2.2%>	<2.0%>	<1.7%>	<△0.2pt>	
うち知的財産権収益・役務収益	565	601	767	166	27.5%

(注1) 売上収益は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。

(注2) 「その他」には、中東・大洋州・アフリカが含まれている。

### ◆連結医療用医薬品売上収益

(億円)

	15年度	16年度	17年度	対前年同期		実質的な 成長率
医療用医薬品売上収益 合計	16,487	15,689	16,915	1,227	7.8%	6.0%
日本	5,417	5,047	5,014	△33	△0.7%	△0.2%
米国	5,110	5,167	5,983	816	15.8%	13.5%
欧州およびカナダ	3,056	2,760	3,137	377	13.7%	6.7%
新興国	2,904	2,715	2,781	66	2.4%	2.0%
ロシア/CIS	618	575	682	107	18.6%	8.3%
ロシア	435	419	513	94	22.5%	9.5%
中南米	682	725	757	32	4.4%	13.2%
ブラジル	381	390	462	71	18.3%	14.7%
アジア	1,212	1,078	1,040	△37	△3.5%	△6.0%
中国	660	576	496	△80	△13.9%	△14.9%
その他	392	337	302	△35	△10.4%	△7.0%
うち知的財産権収益・役務収益	558	595	762	167	28.0%	1.6%
日本	66	187	313	126	67.7%	△18.5%
海外	493	409	449	40	9.9%	8.5%

海外医療用医薬品売上収益比率 67.1% 67.8% 70.4% 2.5pt

(注1) 売上収益は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。

(注2) 「その他」には、中東・大洋州・アフリカが含まれている。

## ◆連結売上収益（四半期）

（億円）

	16年度				17年度							
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
売上収益合計	4,340	4,168	4,650	4,162	4,482	3.3%	4,332	3.9%	4,882	5.0%	4,010	△3.7%
日本	1,638	1,633	1,873	1,410	1,603	△2.1%	1,347	△17.5%	1,682	△10.2%	1,171	△16.9%
<売上収益比率>	<37.7%>	<39.2%>	<40.3%>	<33.9%>	<35.8%>		<31.1%>		<34.5%>		<29.2%>	
米国	1,305	1,214	1,304	1,378	1,486	13.9%	1,532	26.2%	1,613	23.6%	1,353	△1.8%
<同比率>	<30.1%>	<29.1%>	<28.1%>	<33.1%>	<33.1%>		<35.4%>		<33.0%>		<33.7%>	
欧州およびカナダ	765	663	699	671	736	△3.8%	754	13.7%	848	21.4%	800	19.2%
<同比率>	<17.6%>	<15.9%>	<15.0%>	<16.1%>	<16.4%>		<17.4%>		<17.4%>		<19.9%>	
新興国	633	657	775	704	658	4.0%	699	6.3%	739	△4.6%	685	△2.6%
<同比率>	<14.6%>	<15.8%>	<16.7%>	<16.9%>	<14.7%>		<16.1%>		<15.1%>		<17.1%>	
ロシア/CIS	128	127	161	160	170	33.1%	181	42.5%	209	29.6%	123	△23.2%
<同比率>	<3.0%>	<3.0%>	<3.5%>	<3.8%>	<3.8%>		<4.2%>		<4.3%>		<3.1%>	
中南米	150	167	234	175	170	13.3%	191	14.3%	200	△14.4%	196	12.1%
<同比率>	<3.4%>	<4.0%>	<5.0%>	<4.2%>	<3.8%>		<4.4%>		<4.1%>		<4.9%>	
アジア	275	280	307	267	252	△8.6%	240	△14.1%	281	△8.2%	267	0.1%
<同比率>	<6.3%>	<6.7%>	<6.6%>	<6.4%>	<5.6%>		<5.5%>		<5.8%>		<6.7%>	
その他	80	84	74	103	66	△17.0%	87	3.9%	49	△34.0%	100	△2.6%
<同比率>	<1.8%>	<2.0%>	<1.6%>	<2.5%>	<1.5%>		<2.0%>		<1.0%>		<2.5%>	
うち知的財産権収益・役務収益	124	167	198	112	303	144.1%	128	△23.4%	179	△9.9%	157	40.5%

（注1）売上収益は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。（注2）「その他」には、中東・大洋州・アフリカが含まれている。

## ◆連結医療用医薬品売上収益（四半期）

（億円）

	16年度				17年度							
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
医療用医薬品売上収益 合計	3,940	3,756	4,210	3,781	4,272	8.4%	4,112	9.5%	4,674	11.0%	3,857	2.0%
日本	1,267	1,251	1,465	1,064	1,393	10.0%	1,127	△9.9%	1,475	0.7%	1,019	△4.3%
米国	1,297	1,206	1,297	1,367	1,486	14.6%	1,532	27.1%	1,613	24.3%	1,353	△1.1%
欧州およびカナダ	755	655	689	661	736	△2.6%	754	15.1%	848	23.1%	800	21.0%
新興国	621	645	759	689	658	5.9%	699	8.4%	739	△2.7%	685	△0.5%
ロシア/CIS	128	127	161	160	170	33.1%	181	42.6%	209	29.6%	123	△23.2%
ロシア	91	95	120	113	125	37.6%	138	44.7%	163	35.5%	88	△22.1%
中南米	150	167	234	175	170	13.4%	191	14.3%	200	△14.3%	196	12.2%
ブラジル	81	99	104	106	100	23.5%	120	20.8%	121	15.6%	122	14.7%
アジア	264	268	291	255	252	△4.8%	240	△10.2%	281	△3.4%	267	4.9%
中国	139	147	161	129	123	△11.2%	103	△30.1%	142	△11.4%	127	△1.4%
その他	80	84	73	100	66	△16.7%	87	4.2%	49	△33.9%	100	△0.5%
うち知的財産権収益・役務収益	122	166	196	111	302	146.5%	127	△23.5%	177	△9.8%	156	41.1%
日本	28	95	42	22	181	-	25	△74.0%	37	△12.0%	70	-
海外	94	71	154	89	121	28.1%	102	43.9%	140	△9.2%	86	△3.6%
海外医療用医薬品売上収益比率	67.9%	66.7%	65.2%	71.9%	67.4%		72.6%		68.4%		73.6%	

（注1）売上収益は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。（注2）「その他」には、中東・大洋州・アフリカが含まれている。

◆医療用医薬品 グローバル主要品目売上高 (注1)

		15年度	16年度	17年度	対前年同期		18年度見込 (注3)	17年度 実質的な成長
エンティビオ	米国	631	996	1,336	340	34.1%		31.6%
	欧州およびカナダ	219	395	602	207	52.3%		42.1%
	新興国	13	40	75	35	86.4%		77.1%
	合計	862	1,432	2,014	582	40.6%	↗↗↗	35.9%
ニンラーロ	日本	-	-	25	25	-		-
	米国	40	291	394	103	35.5%		32.8%
	欧州およびカナダ	-	2	40	37	-		-
	新興国	0	1	6	5	-		-
合計	41	294	464	171	58.1%	↗↗↗	54.2%	
ベルケイド	米国	1,316	1,129	1,137	8	0.7%		△1.4%
	米国以外	304	247	236	△10	△4.2%		△6.9%
	合計	1,620	1,376	1,373	△2	△0.2%	↘↘↘	△2.4%
アドセトリス	日本	31	33	38	5	16.4%		16.4%
	欧州	174	175	201	26	14.9%		7.4%
	新興国	72	93	143	50	53.4%		51.4%
	合計	276	301	385	84	27.8%	→	23.2%
タケキャブ	日本	84	341	551	210	61.6%		61.6%
合計	84	341	551	210	61.7%	→	61.7%	
トリンテリックス	米国	245	319	484	165	51.5%		47.9%
合計	245	319	484	165	51.6%	↗	47.9%	
リュープロレリン	日本	538	486	476	△10	△2.1%		△2.1%
	米国	173	183	197	14	7.6%		1.8%
	欧州およびカナダ	353	311	345	34	10.9%		△1.6%
	新興国	180	163	127	△35	△21.8%		△8.3%
	合計	1,244	1,142	1,144	2	0.2%	→	△2.0%
デクスラント	米国	640	497	495	△2	△0.4%		△2.7%
	欧州およびカナダ	54	57	64	7	12.6%		6.9%
	新興国	57	73	99	26	35.4%		32.0%
	合計	751	626	657	31	4.9%	→	2.2%
アジルバ	日本	590	669	730	61	9.1%		9.1%
	合計	590	669	730	61	9.1%	→	9.1%
ネシーナ	日本	369	329	301	△28	△8.5%		△8.5%
	米国	53	52	60	8	14.8%		12.2%
	欧州およびカナダ	35	61	90	29	47.2%		37.4%
	新興国	33	49	86	37	75.8%		68.0%
	合計	489	491	537	46	9.3%	↗	7.3%
ユーロリック	米国	418	414	458	43	10.5%		8.1%
	欧州およびカナダ	7	7	8	1	15.0%		10.1%
	新興国	-	1	3	2	181.3%		163.2%
	合計	425	422	468	46	10.9%	→	8.5%
コルクリス	米国	465	389	403	14	3.5%		1.2%
	合計	465	389	403	14	3.5%	↘↘	1.2%
アミティーザ	米国	372	337	337	0	0.1%		△2.1%
	欧州およびカナダ	1	1	1	0	14.1%		9.7%
	合計	373	338	338	0	0.1%	→	△2.0%
パントブラゾール	米国	136	101	72	△29	△28.3%		△29.5%
	欧州およびカナダ	434	305	306	1	0.3%		△7.1%
	新興国	437	337	280	△57	△16.8%		△19.4%
	合計	1,008	742	658	△84	△11.3%	→	△15.7%
ランソブラゾール	日本 (注2)	413	81	47	△34	△42.4%		△3.8%
	米国	275	200	152	△48	△23.9%		△25.3%
	欧州およびカナダ	105	71	72	1	2.0%		△3.6%
	新興国	102	92	97	5	5.6%		1.2%
	合計	895	444	368	△75	△17.0%	↘↘↘	△13.5%
カンデサルタン	日本 (注2)	585	148	26	△122	△82.6%		△1.1%
	米国	13	6	7	1	25.3%		23.3%
	欧州およびカナダ	125	93	95	2	2.1%		△3.7%
	新興国	124	95	92	△3	△2.8%		△4.6%
	合計	848	342	220	△121	△35.5%	↘↘	△3.3%

(注1) 知的財産権収益および役務収益を含めて表示。

(注2) 2016年4月に単剤を、2017年5月に配合剤を、テバ社との日本における合併会社に移管している。

現在は、これら製品の合併会社に対する供給売上を計上している。

(注3) 業績予想に関する注意事項については15ページ参照。

→ ±<10%   ↗ +10%~20%   ↗↗ +20%~30%   ↗↗↗ +>30%   ↘ -10%~20%   ↘↘ -20%~30%   ↘↘↘ ->30%

◆医療用医薬品 グローバル主要品目売上高 (注1) (四半期)

(億円)

		16年度			
		Q1	Q2	Q3	Q4
エンテビオ	米国	225	232	257	283
	欧州およびカナダ	88	93	107	107
	新興国	8	9	10	15
	合計	320	333	374	404
ニンラーロ	日本	-	-	-	-
	米国	60	68	80	83
	欧州およびカナダ	-	-	0	2
	新興国	0	0	0	0
合計	60	68	80	86	
ベルケイド	米国	289	267	274	299
	米国以外	67	71	68	40
	合計	355	338	342	340
アドセトリス	日本	9	7	9	8
	欧州	50	38	42	44
	新興国	19	21	23	30
	合計	78	66	74	83
タケキャブ	日本	64	75	108	95
	合計	64	75	108	95
トリンデリックス	米国	64	78	85	91
	合計	64	78	85	91
リュープロレリン	日本	131	117	136	102
	米国	57	38	49	39
	欧州およびカナダ	83	78	70	80
	新興国	38	42	44	39
	合計	308	275	299	261
デクスラント	米国	130	124	123	120
	欧州およびカナダ	15	13	15	14
	新興国	16	16	18	23
	合計	162	153	156	156
アジルバ	日本	177	156	185	150
	合計	177	156	185	150
ネシーナ	日本	93	77	92	66
	米国	15	12	11	14
	欧州およびカナダ	15	14	15	17
	新興国	10	13	11	15
	合計	133	116	130	112
ユーロリック	米国	95	96	113	110
	欧州およびカナダ	2	2	2	2
	新興国	0	0	0	0
	合計	97	98	116	112
コルクリス	米国	105	97	93	94
	合計	105	97	93	94
アミティーザ	米国	89	80	93	76
	欧州およびカナダ	0	0	0	0
	合計	89	80	93	76
パントプラゾール	米国	34	20	23	24
	欧州およびカナダ	86	72	78	68
	新興国	80	91	82	83
	合計	201	183	184	175
ランソプラゾール	日本 (注2)	21	20	21	18
	米国	66	42	48	44
	欧州およびカナダ	23	15	17	16
	新興国	24	22	24	22
	合計	134	100	110	101
カンデサルタン	日本 (注2)	48	37	36	26
	米国	2	1	2	1
	欧州およびカナダ	30	18	26	19
	新興国	32	19	24	20
	合計	113	75	88	66

(注1) 知的財産権収益および役員収益を含めて表示。

(注2) 2016年4月に単剤を、2017年5月に配合剤を、テバ社との日本における合併会社に移管している。

現在は、これら製品の合併会社に対する供給売上を計上している。



(億円)

		17年度							
		Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
エンティビオ	米国	310	37.9%	348	50.0%	348	35.4%	331	17.0%
	欧州およびカナダ	135	53.1%	144	55.2%	157	46.5%	166	54.9%
	新興国	14	90.1%	19	123.9%	20	107.1%	22	48.6%
	合計	459	43.3%	511	53.3%	526	40.5%	518	28.2%
ニンラーロ	日本	2	-	6	-	9	-	7	-
	米国	90	51.0%	101	49.3%	107	33.3%	96	15.3%
	欧州およびカナダ	6	-	9	-	11	-	13	-
	新興国	1	-	1	-	1	-	3	-
合計	100	67.1%	117	72.8%	128	60.2%	119	38.3%	
ベルケイド	米国	307	6.4%	295	10.4%	287	4.6%	248	△17.1%
	米国以外	55	△17.7%	63	△10.8%	72	4.9%	46	14.4%
	合計	362	1.9%	358	6.0%	358	4.7%	294	△13.3%
アドセトリス	日本	10	19.1%	9	22.8%	10	3.7%	9	22.6%
	欧州	47	△6.7%	52	37.0%	54	28.0%	48	8.3%
	新興国	36	91.3%	34	64.2%	35	52.0%	37	23.7%
	合計	93	19.0%	97	46.9%	99	32.5%	96	16.5%
タケキャブ	日本	125	95.7%	128	72.0%	167	54.6%	131	38.4%
	合計	125	95.7%	128	72.0%	167	54.6%	131	38.6%
トリンデリックス	米国	112	74.1%	122	56.8%	141	65.5%	108	18.2%
	合計	112	74.1%	122	56.8%	141	65.5%	108	18.2%
リユープロレリン	日本	124	△5.3%	116	△0.5%	137	0.9%	99	△3.8%
	米国	52	△7.6%	41	7.1%	58	17.3%	46	17.9%
	欧州およびカナダ	81	△2.7%	86	10.9%	88	26.2%	89	11.4%
	新興国	30	△19.0%	32	△24.6%	33	△24.2%	32	△18.6%
合計	287	△6.7%	275	0.1%	316	5.9%	266	1.9%	
デクスラント	米国	128	△1.8%	133	6.7%	141	15.1%	93	△22.1%
	欧州およびカナダ	14	△3.7%	16	19.2%	18	17.8%	16	18.0%
	新興国	21	27.9%	23	43.7%	28	54.5%	27	19.8%
	合計	163	1.0%	171	11.6%	187	19.9%	137	△12.5%
アジルバ	日本	187	5.6%	171	9.2%	210	13.5%	162	7.8%
	合計	187	5.6%	171	9.2%	210	13.5%	162	7.8%
ネシーナ	日本	80	△13.8%	72	△7.3%	88	△4.4%	61	△8.0%
	米国	12	△16.8%	16	29.1%	19	72.5%	12	△10.8%
	欧州およびカナダ	20	32.9%	20	45.9%	25	60.6%	26	48.8%
	新興国	14	42.1%	21	64.6%	22	92.7%	29	95.4%
合計	127	△4.7%	129	10.9%	154	18.4%	127	14.0%	
ユーロリック	米国	112	17.3%	113	17.8%	117	3.0%	116	5.8%
	欧州およびカナダ	2	4.6%	2	17.5%	2	24.9%	2	13.0%
	新興国	1	-	1	-	1	162.9%	1	116.1%
	合計	114	17.5%	116	18.3%	120	3.7%	118	6.2%
コルクリス	米国	96	△8.3%	103	6.3%	122	31.5%	82	△13.6%
	合計	96	△8.3%	103	6.3%	122	31.5%	82	△13.6%
アミティーザ	米国	86	△3.0%	88	10.5%	94	1.5%	69	△9.2%
	欧州およびカナダ	0	0.3%	0	△0.8%	0	40.5%	0	15.5%
	合計	86	△3.0%	88	10.5%	95	1.6%	69	△9.0%
パントプラゾール	米国	19	△45.5%	22	10.4%	21	△11.6%	12	△51.8%
	欧州およびカナダ	79	△9.0%	72	0.6%	81	3.7%	73	8.1%
	新興国	70	△12.2%	84	△7.9%	48	△41.6%	78	△6.4%
	合計	167	△16.5%	178	△2.6%	150	△18.5%	163	△7.0%
ランソプラゾール	日本 (注2)	16	△26.1%	10	△50.2%	11	△49.0%	10	△45.1%
	米国	38	△42.9%	37	△12.8%	47	△2.7%	31	△28.9%
	欧州およびカナダ	19	△13.9%	18	16.8%	18	6.5%	17	5.4%
	新興国	25	2.3%	24	7.5%	24	1.7%	25	11.5%
	合計	97	△27.2%	88	△11.3%	99	△9.3%	83	△17.4%
カンデサルタン	日本 (注2)	18	△62.3%	5	△87.9%	1	△96.1%	2	△93.9%
	米国	2	△3.1%	1	19.6%	3	73.8%	1	8.9%
	欧州およびカナダ	26	△14.0%	20	6.5%	30	14.5%	20	6.2%
	新興国	26	△16.9%	17	△11.3%	30	23.7%	19	△4.1%
	合計	73	△35.4%	42	△44.6%	64	△27.2%	42	△36.4%

(注1) 知的財産権収益および役員収益を含めて表示。

(注2) 2016年4月に単剤を、2017年5月に配合剤を、テバ社との日本における合併会社に移管している。

現在は、これら製品の合併会社に対する供給売上を計上している。

### 3. 連結財務状態計算書

#### <資産>

(億円)

	15年度末	16年度末	17年度末	構成比	対16年度末
非流動資産	24,503	30,864	30,277	73.7%	△587
有形固定資産	5,519	5,273	5,368	13.1%	95
取得原価	12,238	11,349	11,914		564
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,719	△6,076	△6,546		△470
のれん	7,793	10,196	10,292	25.1%	97
無形資産	7,431	10,630	10,143	24.7%	△488
投資不動産	266	95	94	0.2%	△1
持分法で会計処理されている投資	100	1,264	1,079	2.6%	△185
その他の金融資産	1,495	1,766	1,964	4.8%	198
売却可能金融資産	1,321	1,645	1,719		74
その他の非流動資産	190	449	685	1.7%	236
前払年金費用	169	396	414		17
繰延税金資産	1,708	1,190	650	1.6%	△540
流動資産	13,738	12,604	10,788	26.3%	△1,816
棚卸資産	2,540	2,260	2,129	5.2%	△131
売上債権及びその他の債権	4,154	4,234	4,202	10.2%	△32
その他の金融資産	1,086	567	806	2.0%	240
未収法人所得税等	152	214	85	0.2%	△128
その他の流動資産	641	751	579	1.4%	△172
現金及び現金同等物	4,514	3,195	2,945	7.2%	△249
売却目的で保有する資産	650	1,383	40	0.1%	△1,343
資産合計	38,241	43,468	41,065	100.0%	△2,403

<負債及び資本>

(億円)

	15年度末	16年度末	17年度末	構成比	対16年度末
負債合計	18,129	23,978	20,891	50.9%	△3,088
非流動負債	9,557	10,315	13,515	32.9%	3,201
社債	1,798	1,199	1,729	4.2%	530
長期借入金	3,600	4,800	8,128	19.8%	3,328
その他の金融負債	1,021	818	912	2.2%	94
退職給付に係る負債	849	809	876	2.1%	67
引当金	344	381	280	0.7%	△101
その他の非流動負債	710	774	683	1.7%	△91
繰延税金負債	1,235	1,534	907	2.2%	△627
流動負債	8,572	13,663	7,375	18.0%	△6,288
社債	2,285	600	-	0.0%	△600
短期借入金	-	4,851	0	0.0%	△4,850
仕入債務及びその他の債務	1,911	2,406	2,403	5.9%	△4
その他の金融負債	372	289	296	0.7%	7
未払法人所得税	431	708	677	1.6%	△31
引当金	1,153	1,358	1,328	3.2%	△30
その他の流動負債	2,269	2,565	2,639	6.4%	74
売却目的で保有する資産に係る負債	151	887	32	0.1%	△854
資本合計	20,112	19,490	20,174	49.1%	684
資本金	648	652	779		127
資本剰余金	688	750	907		158
自己株式	△360	△487	△744		△256
利益剰余金	15,231	15,118	15,573		455
その他の資本の構成要素	3,279	2,910	3,506		596
売却目的で保有する資産に関連する その他の包括利益	-	-	△48		△48
親会社の所有者に帰属する持分	19,487	18,943	19,974		1,032
非支配持分	625	547	200		△347
負債及び資本合計	38,241	43,468	41,065	100.0%	△2,403

#### 4. 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	15年度	16年度	17年度	対前年
営業活動によるキャッシュ・フロー	255	2,614	3,779	1,165
投資活動によるキャッシュ・フロー	△712	△6,557	△933	5,623
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,248	2,899	△3,262	△6,161
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,706	△1,044	△417	627
現金及び現金同等物期首残高	6,552	4,514	3,195	△1,320
売却目的で保有する資産からの振戻額	-	-	218	218
現金及び現金同等物に係る換算差額	△333	△57	△46	12
売却目的で保有する資産への振替額	-	△218	△5	213
現金及び現金同等物期末残高	4,514	3,195	2,945	△249

## 5. 為替

平均レート	(円)			
	ドル	ユーロ	ルーブル	リアル
15年度	121	132	1.9	34.1
16年度	109	120	1.7	32.9
17年度	111	129	1.9	34.5
18年度公表予想	108	130	1.9	33.0

1%為替円安影響	(億円)			
	ドル	ユーロ	ルーブル	リアル
売上収益	+57.6	+20.5	+4.9	+4.2
Core Earnings	+12.9	△2.4	+2.6	+1.1
営業利益	+4.7	△7.5	+1.9	+0.9
当期利益	+3.2	△5.3	+1.4	+0.6

## 6. 資本的支出、減価償却費及び償却費、減損損失

	15年度	16年度	17年度	対前年		(億円) 18年度見込 (注)
資本的支出	1,368	1,481	1,654	173	11.6%	
有形固定資産の増加額*	940	724	745	21	2.9%	
無形資産の増加額*	428	757	909	151	20.0%	
*企業買収に伴う増加額は含まない。						
減価償却費及び償却費	1,812	1,705	1,818	113	6.6%	
有形固定資産の減価償却費*	529	514	475	△39	△7.6%	
無形資産の償却費	1,283	1,191	1,343	152	12.8%	
うち、製品に係る償却費	1,218	1,125	1,261	137	12.1%	960
*投資不動産に係る減価償却費は含まない。						
減損損失	152	514	135	△379	△73.7%	
うち、製品に係る減損損失	100	443	△40	△482	-	120
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	* 1,318	1,567	1,221	△346	△22.1%	1,080

\* 16年度より、これまで「研究開発費」に含めていた研究開発関連の無形資産（パイプラインや基盤技術）に係る償却費及び減損損失を組み替え、「製品等に係る無形資産償却費及び減損損失」の勘定科目名称で表示。なお、15年度の当該組替影響額は66億円であり、「製品等に係る無形資産償却費及び減損損失」に相当する15年度実績は1,318億円。

(注) 業績予想に関する注意事項については15ページ参照。

## 7. 人員の状況

	15年度末	16年度末	17年度末	構成比	対前年度末
連結人員 合計 ①+②	31,168	29,900	27,230	100.0%	△2,670
(うち海外)	(21,877)	(20,774)	(20,273)	(74.5%)	(△501)
武田薬品単体 (就業人員) ①	6,780	6,638	5,461	20.1%	△1,177
連結子会社 ②	24,388	23,262	21,768	79.9%	△1,494

(注) 工数換算ベースの就業人員数である。

## 8. 株主の状況

### 【所有者別】

		15年度末	16年度末	17年度末	対16年度末
国内機関投資家	株主数 (名)	291	298	273	△25
	株式数 (千株)	252,537	263,866	246,230	△17,636
	構成比 (%)	31.96	33.38	30.98	△2.39
国内証券会社	株主数 (名)	64	52	50	△2
	株式数 (千株)	38,448	33,348	28,732	△4,616
	構成比 (%)	4.87	4.22	3.62	△0.60
国内事業会社	株主数 (名)	1,515	1,621	1,473	△148
	株式数 (千株)	41,133	40,267	38,179	△2,089
	構成比 (%)	5.20	5.09	4.80	△0.29
海外機関投資家等	株主数 (名)	876	945	1,035	90
	株式数 (千株)	248,822	231,977	279,854	47,877
	構成比 (%)	31.49	29.34	35.22	5.87
国内個人投資家等	株主数 (名)	262,674	284,103	252,831	△31,272
	株式数 (千株)	209,197	220,910	201,532	△19,378
	構成比 (%)	26.47	27.94	25.36	△2.58
武田薬品	株式数 (千株)	147	152	161	9
	構成比 (%)	0.02	0.02	0.02	0.00

### 【所有株数別】

		15年度末	16年度末	17年度末	対16年度末
500万株以上	株主数 (名)	24	24	24	0
	株式数 (千株)	333,589	348,925	346,303	△2,621
	構成比 (%)	42.21	44.14	43.58	△0.56
100万株以上	株主数 (名)	79	71	70	△1
	株式数 (千株)	182,566	156,569	164,940	8,370
	構成比 (%)	23.10	19.81	20.76	0.95
10万株以上	株主数 (名)	266	254	293	39
	株式数 (千株)	79,611	76,432	93,391	16,958
	構成比 (%)	10.07	9.67	11.75	2.08
1万株以上	株主数 (名)	2,091	2,263	2,122	△141
	株式数 (千株)	43,975	48,215	45,789	△2,426
	構成比 (%)	5.56	6.10	5.76	△0.34
1000株以上	株主数 (名)	51,050	53,799	48,607	△5,192
	株式数 (千株)	103,367	108,697	98,738	△9,958
	構成比 (%)	13.08	13.75	12.42	△1.33
100株以上	株主数 (名)	203,532	222,354	196,372	△25,982
	株式数 (千株)	46,955	51,464	45,319	△6,145
	構成比 (%)	5.94	6.51	5.70	△0.81
100株未満	株主数 (名)	8,379	8,255	8,175	△80
	株式数 (千株)	221	219	209	△10
	構成比 (%)	0.03	0.03	0.03	△0.00
合計	株主数 (名)	265,421	287,020	255,663	△31,357
	株式数 (千株)	790,284	790,521	794,688	4,167

### 【大株主の状況】

順位	株主名	17年度末 構成比		対16年度末増減	
		千株	%	千株	(前期順位)
1	日本マスタートラスト信託銀行 (株)(信託口)	47,021	5.92	4,943	(2)
2	日本生命保険 (相)	43,560	5.48	△7,200	(1)
3	JP MORGAN CHASE BANK 380055	35,055	4.41	1,016	(4)
4	日本トラスティ・サービス信託銀行 (株)(信託口)	34,408	4.33	△2,119	(3)
5	公益財団法人武田科学振興財団	17,912	2.25	-	(5)
6	STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	14,958	1.88	3,286	(8)
7	日本トラスティ・サービス信託銀行 (株)(信託口5)	14,075	1.77	△352	(7)
8	ハークレイ証券株式会社	13,278	1.67	△1,722	(6)
9	JP MORGAN CHASE BANK 385147	10,582	1.33	-	(11)
10	日本トラスティ・サービス信託銀行 (株)(信託口1)	10,461	1.32	△267	(9)



## 9. 主要な経営指標

	15年度	16年度	17年度
<b>【成長性】</b>			
売上伸長率 (%)	1.7	△4.2	2.2
営業利益伸長率 (%)	-	19.1	55.1
当期利益伸長率 (%) (注1)	-	43.4	62.6
<b>【収益性】</b>			
売上総利益率 (%)	70.4	67.7	72.0
売上営業利益率 (%)	7.2	9.0	13.7
売上当期利益率 (%) (注1)	4.4	6.6	10.6
総資産当期利益率 (%) (注1)	2.0	2.8	4.4
親会社所有者帰属持分当期利益率 (ROE、%)	3.9	6.0	9.6
<b>【安定性】</b>			
親会社所有者帰属持分比率 (%)	51.0	43.5	48.6
流動比率 (%)	160.3	92.3	146.3
非流動資産対長期資本比率 (%) (注1)	84.4	105.5	90.4
<b>【効率性】</b>			
総資本回転率 (回)	0.47	0.40	0.43
固定資産回転率 (回)	0.74	0.56	0.58
売上債権回転率 (回) (注2)	4.69	4.73	4.79
<b>【その他】</b>			
研究開発費比率 (%) (注3) (注4)	18.6	18.0	18.4
1株当たり親会社所有者帰属持分 (円)	2,487	2,426	2,557
基本的1株当たり当期利益 (EPS、円) (注1)	102.26	147.15	239.35
EPS成長率 (%)	△155.2	43.9	62.7
1株当たり配当金	180.0	180.0	180.0
配当性向 (%)	176.0	122.3	75.2
親会社所有者帰属持分配当率 (DOE、%)	6.9	7.3	7.2
期末株価 (円)	5,136	5,229	5,183
株式時価総額 (億円)	40,589	41,336	41,189

(注1) 指標は親会社の所有者に帰属する金額を用いて算定している。

(注2) 売上債権回転率については、期末休日要因を排除している。

(注3) 2016年度に、従来「その他の営業利益」に計上していた政府補助金について、対応する費用項目（「売上原価」、「販売費及び一般管理費」および「研究開発費」）から控除する方法へ変更しており、これに伴い、2015年度の政府補助金を組替えている。

(注4) 2016年度より、従来「研究開発費」に計上していた、企業買収や製品・パイプラインなどの導入により取得した無形資産の償却費および減損損失を「製品に係る無形資産償却費及び減損損失」に計上しており、2015年度の関連する研究開発費を組替えている。

### 【2018年度の武田薬品の業績予想について】

武田薬品は現在、Shire plcに関するオファー期間（英国のCity Code on Takeovers and Mergers（以下、「コード」）において定義される期間をいいます。）にあります。コード第28条に基づき、武田薬品による2018年度のガイダンスに関する見解（2018年度における売上収益、Core Earnings、営業利益、税引前当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益、EPS、研究開発費、無形資産償却費及び減損損失、収益/費用、並びに実質的な売上収益、実質的なCore Earnings及び実質的なCore EPSに関する予想情報を含みます。）は、2018年度における業績予想（以下「武田薬品業績予想」）を構成します。

武田薬品業績予想に関する追加情報及び取締役による当該業績予想が有効なものであり、上掲の前提及び当社の会計方針に基づき適切に作成されている旨の確認につきましては、2018年5月14日付けの武田薬品2018年3月期決算短信をご参照ください。

## II. パイプラインの状況

### 1. 開発の状況

- この表では当社が承認取得を目指し積極的に取り組んでいるパイプラインの主な効能を掲載しています。掲載している効能以外にも、将来の効能・剤型追加の可能性を検討するために臨床試験を行っています。
- この表では日本・米国・欧州・中国における開発状況を掲載していますが、新興国を含め他の地域においても開発を行っています。掲載している試験は、開示地域における申請用データ取得試験、または特定地域を対象とする導入品目の試験に限っています。
- ステージアップの基準はFSI（第一被験者の登録日）としています。
- 2017年度第3四半期決算開示以降のパイプラインの変更については各表の欄外に注記しています。
- 米国、欧州、中国、日本における開発をまとめて「グローバル」の表記で記載している箇所があります。

### ■ がん領域

開発コード ＜一般名＞ 製品名	薬効（投与経路）	適応症／剤型追加	開発段階
<b>&lt;brigatinib&gt;</b> ALUNBRIG®（米国）	ALK 阻害薬（経口剤）	クリゾチニブ投与中に進行した、あるいはクリゾチニブ不認容の ALK 陽性転移性非小細胞肺癌	欧州 申請（17/2） 中国 P-I
		ALK 陽性非小細胞肺癌（フロントライン適応）	米国 P-III 欧州 P-III 中国 P-I
		以前に ALK 阻害薬の投与を受けた日本人患者の ALK 陽性 非小細胞肺癌	日本 P-IIa
		ROS 1 陽性非小細胞肺癌	— P-I
<b>SGN-35</b> <b>&lt;brentuximab vedotin&gt;</b> アドセトリス®（欧州、日本）	CD30 モノクローナル抗体薬物複合体 （注射剤）	ホジキンリンパ腫（フロントライン適応）	欧州 申請（17/11） 日本 申請（18/1）
		成熟型 T 細胞性リンパ腫（フロントライン適応）	欧州 P-III 日本 P-III
		再発・難治性のホジキンリンパ腫	中国 P-II
		再発・難治性の全身性未分化大細胞リンパ腫	中国 P-II
<b>MLN9708</b> <b>&lt;ixazomib&gt;</b> ニララー® （米国、欧州、日本）	プロテアソーム阻害薬（経口剤）	初発の多発性骨髄腫	米国 P-III 欧州 P-III 日本 P-III 中国 P-I
		自家造血幹細胞移植後の初発の多発性骨髄腫の維持療法	米国 P-III 欧州 P-III 日本 P-III 中国 P-I
		自家造血幹細胞移植未実施の初発の多発性骨髄腫の 維持療法	グローバル P-III
		再発・難治性の原発性 AL アミロイドーシス	米国 P-III 欧州 P-III 中国 P-III
		再発・難治性の多発性骨髄腫 （デキサメタゾンとの 2 剤併用療法）	米国 P-III 欧州 P-III 日本 P-III
<b>&lt;ponatinib&gt;</b> ICLUSIG®（米国）	BCR-ABL 阻害薬（経口剤）	フィラデルフィア染色体陽性の急性リンパ性白血病	米国 P-III 欧州 P-III 日本 P-III
		慢性骨髄性白血病の患者を対象とする用量設定試験	米国 P-IIb
<b>TAK-924</b> <b>&lt;pevonedistat&gt;</b>	NEDD8 活性化酵素阻害薬 （注射剤）	高リスク骨髄異形成症候群、慢性骨髄単球性白血病、 低プラスト急性骨髄性白血病	米国 P-III 欧州 P-III
<b>TAK-385</b> <b>&lt;relugolix&gt;</b>	LH-RH アンタゴニスト（経口剤）	子宮筋腫	日本 申請（18/2）
		前立腺がん	日本 P-III 中国 P-I
		子宮内膜症	日本 P-IIb
<b>TAK-228</b> <b>&lt;sapanisertib&gt;</b>	mTORC1/2 阻害薬（経口剤）	子宮内膜がん	米国 P-IIb
<b>TAK-659</b> ＜ - ＞	SYK/FLT3 キナーゼ阻害薬 （経口剤）	びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫	— P-IIa
		固形がん、血液がん	— P-I
<b>TAK-931</b> ＜ - ＞	CDC 7 阻害薬（経口剤）	転移性膵臓がん、大腸がん	— P-IIa
<b>&lt;cabozantinib&gt;</b>	マルチターゲットキナーゼ阻害薬 （経口剤）	腎がん	日本 P-IIa
<b>TAK-079</b> ＜ - ＞	細胞溶解性モノクローナル抗体 （注射剤）	再発多発性骨髄腫	— P-I
		全身性エリテマトーデス	— P-I

<b>TAK-573</b> < - >	抗 CD38 抗体(IgG4)と活性減弱 IFNαとの融合蛋白 (注射剤)	難治性の多発性骨髄腫	—	P - I
<b>TAK-788</b> < - >	EGFR/HER2 阻害薬 (経口剤)	非小細胞肺癌	—	P - I
<b>XMT-1522<sup>*1</sup></b> < - >	HER2 dolaflexin 抗体薬物複合体 (注射剤)	HER2 陽性の固形がん	—	P - I
<b>&lt;niraparib&gt;</b>	PARP1/2 阻害薬 (経口剤)	複数のがん種	日本	P - I

\*1 当社と Mersana 社は XMT-1522 を共同開発するが、臨床第 1 相試験については Mersana 社が実施する。

2017 年度第 3 四半期決算開示以降の追加： brigatinib - 以前に ALK 阻害薬の投与を受けた日本人患者の ALK 陽性非小細胞肺癌、TAK-079、niraparib

2017 年度第 3 四半期決算開示以降の削除： SGN-35 - 再発性皮膚 T 細胞性リンパ腫 (欧州承認)、Iclusig - イマチニブ耐性慢性骨髄性白血病 (米国承認)、TAK-228 - 乳がん、腎がん、TAK-202、TAK-243、TAK-580

## ■ 消化器系疾患領域

開発コード <一般名> 製品名	薬効 (投与経路)	適応症 / 剤型追加	開発段階	
<b>MLN0002</b> <vedolizumab> ENTYVIO® (米国、欧州)	ヒト化抗α4β7 インテグリン モノクローナル抗体 (注射剤)	潰瘍性大腸炎	日本	申請 (17/8)
		クローン病	中国	P - III
		皮下投与製剤 (潰瘍性大腸炎、クローン病)	日本	P - III
			中国	P - III
			米国	P - III
		欧州	P - III	
		日本	P - III	
		ステロイド難治性の移植片対宿主病	—	P - II a
		同種造血幹細胞移植を受けている患者における 移植片対宿主病の予防	—	P - I
<b>SPI-0211</b> <lubiprostone> AMITIZA® (米国)	クローライドチャンネル開口薬 (経口剤)	小児機能性便秘症	米国	申請 (17/7)
		新規剤型 (慢性特発性便秘症、オピオイド誘発性便秘症)	米国	P - III
<b>TAK-438</b> <vonoprazan> タケキャブ® (日本)	カリウムイオン競合型アシッド プロモーター (経口剤)	非びらん性胃食道逆流症	日本	P - III
		プロトンポンプ阻害薬による治療で効果が不十分な 患者における逆流性食道炎	欧州	P - II b
<b>TAK-906</b> < - >	ドパミン D2/D3 受容体アンタゴニスト (経口剤)	胃不全麻痺	—	P - II a
<b>TAK-954</b> < - >	5-HT4 受容体アゴニスト (注射剤)	経腸栄養不耐性	—	P - II a
<b>TIMP-GLIA<sup>*2</sup></b> < - >	Tolerizing Immune Modifying nanoParticle (TIMP) (注射剤)	セリアック病	—	P - I

\*2 Cour Pharmaceuticals 社との提携、臨床第 1 相試験は同社が実施

2017 年度第 3 四半期決算開示以降の追加： TIMP-GLIA

2017 年度第 3 四半期決算開示以降の削除： Cx601 - クローン病に伴う肛門複雑瘻孔 (欧州承認)

## ■ ニューロサイエンス (神経精神疾患) 領域

開発コード <一般名> 製品名	薬効 (投与経路)	適応症 / 剤型追加	開発段階	
<b>Lu AA21004</b> <vortioxetine> TRINTELLIX® (米国)	多重作用メカニズム型抗うつ薬 (経口剤)	治療に起因する性功能障害	米国	申請 (17/12)
		大うつ病	日本	P - III
<b>TAK-935<sup>*3</sup></b> < - >	CH24H 阻害薬 (経口剤)	希少小児てんかん	—	P - II a
<b>TAK-831</b> < - >	D - アミノ酸酸化酵素阻害薬 (経口剤)	フリードライヒ運動失調症	—	P - II a
		統合失調症に伴う認知機能障害および陰性症状	—	P - II a
<b>TAK-041</b> < - >	GPR139 アゴニスト (経口剤)	統合失調症に伴う認知機能障害および陰性症状	—	P - I
<b>TAK-418</b> < - >	LSD1 阻害薬 (経口剤)	歌舞伎症候群	—	P - I

<b>TAK-653</b> < - >	AMPA 受容体ポテンシエーター (経口剤)	治療抵抗性うつ病	—	P - I
<b>TAK-925</b> < - >	オレキシン 2R アゴニスト (注射剤)	ナルコレプシー	—	P - I
<b>MEDI-1341</b> <sup>*4</sup> < - >	抗α- シヌクレイン抗体 (注射剤)	パーキンソン病	—	P - I

\*3 Ovid Therapeutics 社との共同開発

\*4 AstraZeneca 社との提携、臨床第 1 相試験は同社が実施

2017 年度第 3 四半期決算開示以降の追加： MEDI-1341

2017 年度第 3 四半期決算開示以降の削除： TVP-1012 - パーキンソン病 (日本承認)、Trintellix - 成人の大うつ病患者における認知機能への効果に関する臨床成績を添付文書に追記 (本追記に関して米国承認)、TAK-058、TAK-071

## ■ ワクチン

開発コード 製品名	薬効 (投与経路)	適応症 / 剤型追加		開発段階
<b>TAK-003</b>	4 価 Dengue 熱ワクチン (注射剤)	Dengue 熱の予防	—	P - III
<b>TAK-214</b>	ノロウイルスワクチン (注射剤)	ノロウイルスによる急性胃腸炎の予防	—	P - II b
<b>TAK-195</b>	セービン株不活化ポリオワクチン (注射剤)	ポリオの予防	—	P - I / II
<b>TAK-021</b>	EV71 ワクチン (注射剤)	エンテロウイルス 71 により発症する手足口病の予防	—	P - I
<b>TAK-426</b>	ジカウイルスワクチン (注射剤)	ジカウイルス感染の予防	—	P - I

## 2. 最近のステージアップ品目 ※2016年度決算開示（2017年5月10日）以降の進捗情報

開発コード <一般名>	適応症／剤型追加	国／地域	進捗情報
SGN-35 <brentuximab vedotin>	再発性皮膚 T 細胞性リンパ腫	欧州	承認 (17/12)
SPI-0211 <lubiprostone>	小児機能性便秘症	米国	申請 (17/7)
MLN0002 <vedolizumab>	潰瘍性大腸炎	日本	申請 (17/8)
SGN-35 <brentuximab vedotin>	ホジキンリンパ腫（フロントライン適応）	欧州	申請 (17/11)
SGN-35 <brentuximab vedotin>	ホジキンリンパ腫（フロントライン適応）	日本	申請 (18/1)
MLN9708 <ixazomib>	再発・難治性の多発性骨髄腫（デキサメタゾンとの 2 剤併用療法）	米国・欧州・日本	P - III
TAK-924 <pevonedistat>	高リスク骨髄異形成症候群、慢性骨髄単球性白血病、低プラスト急性骨髄性白血病	米国・欧州	P - III
MLN0002 <vedolizumab>	ステロイド難治性の移植片対宿主病	—	P - II a
TAK-659 <->	びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫	—	P - II a
TAK-906 <->	胃不全麻痺	—	P - II a
TAK-935 <->	希少小児てんかん	—	P - II a
TAK-931 <->	転移性膵臓がん、大腸がん	—	P - II a
TAK-831 <->	フリードライヒ運動失調症	—	P - II a
TAK-954 <->	経腸栄養不耐性	—	P - II a
<cabozantinib>	腎がん	日本	P - II a
TAK-195	ポリオの予防	—	P - I / II
TAK-418 <->	歌舞伎症候群	—	P - I
TAK-573 <->	難治性の多発性骨髄腫	—	P - I
TAK-925 <->	ナルコレプシー	—	P - I
TAK-426 <->	ジカウイルス感染の予防	—	P - I
Cx601 <darvadstrocel>	クローン病に伴う肛門複雑瘻孔	欧州	承認 (18/3)
TVP-1012 <rasagiline>	パーキンソン病	日本	承認 (18/3)
MLN9708 <ixazomib>	再発・難治性の多発性骨髄腫（デキサメタゾンとの 2 剤併用療法）	中国	承認 (18/4)
Lu AA21004 <vortioxetine>	神経心理検査の Digital Symbol Substitution Test (DSST)を用いて測定した大うつ病における認知機能障害の重要な症状である処理速度の低下に対する改善効果データを添付文書に追記	米国	承認 (18/5)
TAK-385 <relugolix>	子宮筋腫	日本	申請 (18/2)
TAK-831 <->	統合失調症に伴う認知機能障害および/または陰性症状	—	P - II a
<brigatinib>	以前に ALK 阻害薬の投与を受けた日本人患者の ALK 陽性非小細胞肺癌	日本	P - II a
TIMP-GLIA	セリアック病	—	P - I
MEDI-1341	パーキンソン病	—	P - I
<niraparib>	複数のがん種	—	P - I

※太線以下は、2017年度第3四半期決算開示（2018年2月1日）以降の進捗情報

### 3. 開発中止品目 ※2016年度決算開示（2017年5月10日）以降の情報

開発コード <一般名>	適応症/剤型追加（開発段階）	中止および終了理由
MLN9708 <ixazomib>	固形がん（Ⅰ P - I）	今後さらなる自社開発を行うだけの十分な効果が見られなかったため、中止を決定。
Lu AA21004 <vortioxetine>	成人における注意欠陥多動性障害 （米国 P - II a）	P-II 試験において、さらなる開発を行うだけの十分な有効性が見られなかったため、中止を決定。
AD-4833/TOMM40	アルツハイマー病に起因する軽度認知機能障害の 発症遅延（米国・欧州 P - III）	事前に計画されていた中間解析にて、アルツハイマー病に起因する軽度認知機能障害の発症に対する pioglitazone 0.8mg 徐放製剤の十分な発症遅延効果を確認できなかった。遺伝情報に基づくバイオマーカーを用いたリスク評価アルゴリズムの成績は、治験の完全終了後に評価する予定。本試験の中止は、治験薬の安全性や試験実施上の問題によるものではない。
<ponatinib> ICLUSIG® (US)	イマチニブ耐性慢性骨髄性白血病（米国 P - III）	ponatinibの臨床試験全体計画の見直しの一環として、セカンドラインのOPTIC試験の中止を決定。被験者は試験の治療を継続し、当社は試験成績を評価し、慢性骨髄性白血病治療の知見を蓄積。
TAK-228 <sapanisertib>	乳がん、腎がん（米国、欧州 P - II b）	有効性に関するデータの評価と競合環境を考慮し、乳がんと腎がんに対する開発の中止を決定。子宮内膜がんを対象とする P - II b 試験は継続中。
TAK-202 <plozalizumab>	固形がん（Ⅰ P - I）	今後さらなる開発を行うだけの十分な効果が見られなかったため、中止を決定。

※太線以下は、2017年度第3四半期決算開示（2018年2月1日）以降の変更点

### 4. 外部導出を通じたバリュークリエーション品目（候補品目） ※2016年度決算開示（2017年5月10日）以降の情報

開発コード <一般名>	適応症/剤型追加（開発段階）	理由
MT203 <namilumab>	関節リウマチ（日本、欧州 P - II b）	戦略との適合性から本品の臨床開発を中止し、外部導出を通じたバリュークリエーションに転換（下表の Izana Biosciences 社の項を参照）。
TAK-020 <->	関節リウマチ（Ⅰ P - I）	戦略との適合性から臨床開発を中止し、外部導出を通じたバリュークリエーションを検討中。
TAK-243 <->	固形がん（Ⅰ P - I）	ポートフォリオ戦略により開発を中止。
TAK-058 <->	統合失調症に伴う認知機能障害（Ⅰ P - I）	他社に導出済みであり、当社による開発は行っていない。
TAK-071 <->	アルツハイマー型認知症（Ⅰ P - I）	臨床開発を進めるために、ターゲットとする患者層を再評価中。
TAK-580 <->	固形がん（Ⅰ P - I）	ポートフォリオ戦略により開発を中止。

### 他社へ導出した品目

導出先	内容/目的	
Biological E. Limited	インド、中国および低・中所得国において、安価な混合ワクチンの開発を促進するため、既存の麻しんワクチンおよび無細胞百日せきワクチンの大量生産技術を当社からBiological E.社へ移管。	
Cardurion Pharmaceuticals	湘南研究所の12名の循環器系疾患領域の研究チーム、同研究所内の整備された研究スペース、研究開発リソース及び循環器系疾患の複数の前臨床パイプラインをCardurion社に提供。	
Cerevance	武田ケンブリッジ（英国）から25名の神経科学研究チームのCerevance社への移籍とともに、十分に整備された研究施設および前臨床・臨床段階のポートフォリオをCerevance社に移管	
Izana Biosciences	Namilumabの全ての効能に関し、全世界において開発、製造および販売を行う独占的権利をIzana Biosciences社に供与。本ライセンス契約の一部として、同社の株式を戦略的に取得。	
Myovant Sciences	日本とアジアの一部の国を除く全世界におけるrelugolix（TAK-385）の独占的権利、および全世界におけるMVT-602（TAK-448）の独占的権利をMyovant社に供与	
Rhythm	T-3525770（現開発コードRM-853）の全世界の開発・販売にかかる独占的権利をRhythm社に供与。RM-853はブドウ糖耐性試験候群を対象として前臨床段階にある強力な経口投与可能なグレリン脂肪酸転移酵素（GOAT）阻害薬。	
Sochia Pharma	TAK-272、TAK-792及びTAK-094を含めた8つの研究開発プロジェクトに関して、独占的に研究、開発、製造、販売等を行う権利を供与。	
Entrepreneurial Venture Programs (EVPs)	Aikomi	認知症患者向けのデジタル治療法を開発中。
	ChromaJean	独自のアルゴリズムやソフトウェアに基づくクロマトグラフィー・プラットフォームを構築。
	Chordia Therapeutics	当社湘南研究所の6名のがん領域研究者、同研究所内の整備された研究スペース、研究開発リソース及び CDC様キナーゼ阻害薬を含めたがん領域の前臨床パイプラインをChordia社に提供
	ファイメクス	タンパク質分解誘導を作用機序とする新たな医薬品の研究開発活動を行い、First-in-classの治療薬創出を目指すベンチャー企業。
	GenAhead Bio	独自のゲノム編集技術により高効率な細胞作製を実現。受託サービスや細胞療法を事業として計画。
	ジェクスヴァル	当社の開発後期・初期のパイプラインを活用し、レット症候群や肺動脈性肺高血圧症などの難病の治療薬を創出。
	リポルナ	遺伝病に伴うRNA変性を調節する低分子医薬品を開発。
Seedsupply	結合蛋白質探索技術と当社のライブラリーを活用してハイスループットスクリーニングの受託サービスを提供。	

## 5. 共同研究開発活動

### ■ がん領域

提携先	国	内容/目的
Crescendo Biologics	英国	がん領域におけるHumabody®を用いた治療薬の創製、開発および販売
Exelixis, Inc.	米国	がん治療薬cabozantinibに関して、日本における進行性腎細胞がん及び肝細胞がんをはじめ適応拡大を含めた独占的な開発・販売権を獲得
GammaDelta Therapeutics	英国	ヒト組織常在型のガンマ・デルタT細胞が有する独自の特性に基づくGammaDelta社の新規T細胞基盤技術を活用した、新たな免疫治療薬の研究開発
Gencia LLC	米国	血液疾患および炎症性疾患を対象とした、ミトコンドリア結合型糖質コルチコイド受容体作動薬（「MAGR作動薬」）の研究開発
Heidelberg Pharma	ドイツ	抗体薬物複合体に関する2標的とライセンスを含む研究提携（アルファアミンチン毒素及び独占権を有するリンカー）
ImmunoGen, Inc.	米国	ADC（抗体薬物複合体）技術
Maverick Therapeutics	米国	T細胞によるがん細胞認識および攻撃能力の有効性を向上させるために開発されたT細胞誘導療法の基盤技術開発
Mersana Therapeutics	米国	ADC（抗体薬物複合体）技術
Molecular Templates	米国	Molecular Templates社が有するengineered toxin bodies (ETB)基盤技術を用いた治療標的候補に活用
Nektar Therapeutics	米国	Nektar社が保有する免疫治療候補薬であるNKTR-214（CD122-biased agonist）と、当社のがん領域における5つの開発品目との併用治療を検証する共同研究
Noile-Immune Biotech	日本	山口大学玉田耕治教授により開発された次世代型キメラ抗原受容体発現T細胞（CAR-T）療法の研究開発
Seattle Genetics	米国	ADC（抗体薬物複合体）技術
Shattuck Labs	米国	免疫療法と単一薬剤の組み合わせを可能とするShattuck社独自のAgonist Redirected Checkpoint (ARC)™プラットフォーム技術を用いたチェックポイント融合蛋白の探索及び開発
Tesaro	米国	新規がん治療薬niraparibに関して、日本における全てのがん、および韓国、台湾、ロシア、オーストラリアにおける前立腺がんを除く全てのがんに関する独占的開発・販売権を獲得
Teva	イスラエル	TEV-48573（CD38-Attenukine）の全世界の権利及びAttenukineプラットフォーム技術に関する研究提携

### ■ 消化器系疾患領域

提携先	国	内容/目的
Arcturus	米国	肝疾患において、RNAをベースとする治療薬の共同開発
Beacon Discovery	米国	消化器系疾患に対するG蛋白質共役型受容体に関連する薬剤の開発プログラム
BioSurfaces, Inc.	米国	BioSurfaces社のナノマテリアル技術を活用した、消化器系疾患の患者さんを治療するための革新的な医療デバイスに関する共同研究
Cour Pharmaceutical Development Company	米国	Cour社が有するTolerizing Immune Modifying nanoParticles(TIMP)技術に基づくナノテクノロジー技術を利用し、セリアック病等の消化器疾患の治療薬となり得る免疫調整薬を創出
Emulate Bio	米国	オーガニックマイクロエンジニアモデルを用いた炎症性腸疾患に対する薬剤の探索
enGene	カナダ	enGene社の遺伝子導入基盤技術である「Gene Pill」を活用し、専門的な消化器系疾患領域に対する新規治療薬を創出
Enterome	フランス	潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患や過敏性腸症候群などの腸管運動障害をはじめとした消化器系疾患において重要な役割を担うと考えられる腸内細菌を標的とした新たな治療薬を創出
Finch Therapeutics	米国	炎症性腸疾患を対象とした腸内細菌移植試験における良好な臨床結果との関連が示唆される複数の細菌株を培養した前臨床段階の生菌カクテル製剤であるFIN-524の全世界を対象とした共同開発
Hemoshear Therapeutics	米国	HemoShear社の創薬基盤技術であるREVEAL-Tx™を活用し、新規治療法を創出
Karolinska Institutet & Structural Genomics Consortium	スウェーデン	炎症性腸疾患における新規治療法の開発および検証に向けた共同研究
NuBiyota	カナダ	Microbial Ecosystem Therapeuticを活用した腸内細菌由来の治療薬の研究開発
Prana Biotechnology	オーストラリア	消化器系における神経変性を防ぐPrana社のpbt434に関する研究提携
PvP Biologics	米国	グルテンが持つ自己免疫反応を引き起こす成分を胃の中で分解するよう設計された酵素製剤であるKumaMaxの全世界を対象とした共同開発
Samsung Bioepis	韓国	アンメトニーズの高い疾患領域における新規生物学的治療薬への共同出資・共同開発。本プログラムの最初の治療薬候補は重症肺炎への適応を企図とするTAK-671。
Theravance Biopharma	米国	消化管運動障害治療薬候補である5-HT4受容体アゴニストTAK-954のグローバルにおける提携契約
TiGenix	ベルギー	クローン病に伴う肛門複雑瘻孔の治療薬候補であるCx601の米国以外における提携契約

## ■ ニューロサイエンス（神経精神疾患）領域

提携先	国	内容／目的
Affilogic	フランス	Affilogic社が有するNanofitin®技術を活用し、中枢神経系疾患を対象とした治療薬に関する共同研究開発
AstraZeneca	英国	パーキンソン病の治療薬候補として、alpha-synuclein抗体であるMEDI1341の共同開発・販売契約
Cerevence	米国、英国	神経・精神疾患に対する新薬の研究開発
Denali Therapeutics	米国	Denali社が有する脳へのバイオ治療薬移行性を高めるAntibody Transport Vehicle (ATV) プラットフォーム技術を用いた、3つの神経変性疾患治療薬候補の開発および販売に関する戦略的オプションを含む提携契約
Lundbeck	デンマーク	Vortioxetineの共同開発・販売契約
Mindstrong Health	米国	Explore development of digital biomarkers for selected mental health conditions, in particular schizophrenia and treatment-resistant depression
Ovid Therapeutics	米国	CH24H阻害薬であるTAK-935（経口剤）の希少小児てんかんの共同開発。当社とOvid社は開発・製品化にかかる費用を折半し、開発成功時の利益も折半
Teva	イスラエル	Rasagilineの共同開発・販売契約
Wave Life Sciences	米国	神経疾患に対するアンチセンスオリゴヌクレオチド医薬品の開発を目指した研究開発および販売に関する契約、ならびに複数のプログラムに関するオプション契約

## ■ ワクチン

提携先	国	内容／目的
米国政府 The Biomedical Advanced Research and Development Authority (BARDA)	米国	米国や世界中の流行地域でのジカウイルス感染への取り組みとして、当社が有するジカ熱ワクチン（TAK-426）の開発をBARDAが助成
Bill & Melinda Gates Foundation	米国	発展途上国でのポリオ根絶を目指し、当社が有するセービン株不活化ポリオワクチン（TAK-195）の開発をBill & Melinda Gates Foundationが助成
Zydus Cadila	インド	顧みられない新興感染症への取り組みとして、チクングニア熱ワクチン（TAK-507）を共同開発

## ■ その他／複数の疾患領域

提携先	国	内容／目的
国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)	日本	ゲノム編集により作製した疾患iPS心筋細胞を用いた肥大型心筋症治療薬の開発（CICLE: AMEDIによる医療研究開発革新基盤創成事業）
Arix Bioscience	英国	ベンチャー企業とバイオテック企業との連携によるバリュエーション
Atlas Ventures	米国	ベンチャーへの投資を促進する11回目のファンド
アステラス製薬、第一三共	日本	革新的医薬品の創出を効率化・加速化するための、健康成人におけるバイオマーカーの基礎データ
Biomotiv	米国	免疫・炎症および代謝性・循環器疾患領域において革新的な新薬候補物質の同定・開発の強化に向けた提携
Bridge Medicines	米国	Tri-I TDIで採択された研究プロジェクトに対して、資金面、運用面、管理面で支援を行い、有効性やターゲットの創薬上の検証であるブルー・オブ・コンセプト（POC）試験から臨床試験への移行まで継ぎ目なく実施
京都大学iPS細胞研究所（CiRA）	日本	当社重点領域疾患（ニューロサイエンス、オンコロジー、消化器系）及びその他疾患領域でトランスレーショナルサイエンス探索のためのiPS細胞の臨床応用
Dementia Discovery Fund (DDF)	英国	認知機能障害の革新的治療のための創薬・開発を支援するグローバルな投資ファンド
富士フイルム	日本	iPS細胞由来心筋細胞を用いた再生医療製品の共同事業化
FuturRx	イスラエル	イスラエルでのイノベーションを促進するベンチャー
Harrington Discovery Institute at University Hospitals in Cleveland, Ohio	米国	希少疾患治療に繋がる革新的な研究提携
慶應義塾大学、新潟大学、京都大学	日本	神経精神疾患やがんなどを対象とした、疾患関連RNA結合タンパク質の探索と機能解析
国立がん研究センター	日本	抗がん剤の創薬やがん生物学の研究に携わる研究者、医師などの交流を促進による、基礎研究から臨床試験までの治療オプションの探索
Numerate	米国	当社重点疾患領域（オンコロジー、消化器系、ニューロサイエンス）におけるAIプラットフォームを用いた臨床標的の同定を企図した共同研究（ヒット化合物からリード化合物のデザイン・最適化さらには薬物動態・毒性モデルまで）
Portal Instruments	米国	Portal Instruments社の針を使わない医療用デバイスの武田薬品の開発中または承認済み生物学的製剤への応用開発および商品化
Recursion Pharmaceuticals	米国	当社TAK-celerator™ 開発パイプラインのための前臨床課題の提供
Schrödinger	米国	Schrödinger社のin silico技術に基づく創薬力と当社の疾患領域に対する深い知見および構造生物学における専門性を融合した、複数の創薬標的に関する共同研究
Seattle Collaboration	米国	SPRInT (Seattle Partnership for Research on Innovative Therapies) : Fred Hutchinson Cancer Research Center及びWashington大学によるヒト疾患治療への先進的発見の促進（オンコロジー、消化器系、ニューロサイエンスに注力）



Stanford University	米国	革新的な治療薬をさらに効率的に開発するために、Stanford Alliance for Innovative Medicines (Stanford AIM)を設立
Trianni, Inc.	米国	Trianni社の有する次世代の遺伝子導入マウスの基盤技術を用いて、当社が研究対象とする全ての疾患領域において、ヒト型モノクローナル抗体を作成
Tri-Institutional Therapeutics Discovery Institute (Tri-I TDI)	米国	産学連携を推進し、革新的な医薬品を創出
Ultragenyx	米国	希少遺伝子疾患

注：本リストは全ての共同研究開発活動を記載しているものではありません。

## ■ ホームページで開示している臨床試験情報

臨床試験情報は自社ホームページの英文サイト (<https://takedaclinicaltrials.com/>) で、日本における情報については和文サイト (<https://www.takeda.com/jp/what-we-do/research-and-development/takeda-clinical-trial-transparency/>) で公開しています。当社では、全世界の医療関係者および患者さんなど多くの方々に臨床試験情報を公開することにより、当社製品のより一層の適正使用に資するものと考えています。

## Appendix

### ◆ 医療用医薬品 米国主要品目売上高（現地通貨ベース）<sup>(注1)</sup>

(百万米ドル)

	15年度	16年度	17年度	対前年同期	
エンティビオ	524	913	1,202	289	31.6%
ベルケイド	1,079	1,000	995	△5	△0.5%
デクスラント	530	457	445	△12	△2.7%
トリンテリックス	203	294	435	141	47.9%
ユーロリック	347	380	411	31	8.1%
コルクリス	386	358	362	4	1.2%
ニンラーロ	34	267	354	88	32.8%
アミティーザ	308	310	303	△7	△2.1%
アイクルシグ	-	22	171	149	-
プレバシド (ランソプラゾール)	222	179	132	△47	△26.1%
Alunbrig	-	-	25	25	-

(注1) 知的財産権収益および役員収益を除いた製品売上高を表示。

◆ 医療用医薬品 米国主要品目売上高（現地通貨ベース）<sup>（注1）</sup>（四半期）

（百万米ドル）

	16年度				17年度							
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
エンティビオ	201	224	241	247	278	38.2%	314	40.2%	309	28.1%	301	21.8%
ベルケイド	247	250	253	250	268	8.5%	259	3.7%	249	△1.7%	219	△12.3%
デクスラント	117	120	116	104	115	△1.5%	120	△0.2%	126	8.2%	85	△18.9%
トリンテリックス	58	75	81	80	101	74.8%	110	46.4%	126	54.6%	98	23.1%
ユーロリック	85	92	107	95	101	17.7%	102	9.9%	104	△2.8%	105	10.0%
コルクリス	94	93	88	83	87	△8.1%	93	△0.6%	109	23.8%	74	△10.0%
ニンラーロ	54	65	75	73	81	51.3%	91	39.4%	95	25.7%	87	20.6%
アミティーザ	79	77	87	66	77	△2.7%	80	3.2%	84	△3.8%	63	△5.3%
アイクルシグ	-	-	-	22	40	-	42	-	49	-	41	83.0%
プレバシド （ランソプラゾール）	57	40	44	37	33	△42.8%	31	△21.8%	40	△9.0%	28	△25.1%
Alunbrig	-	-	-	-	2	-	5	-	6	-	12	-

（注1）知的財産権収益および役員収益を除いた製品売上高を表示。

## ◆ 医療用医薬品 国内主要品目売上高

(億円)

	発売 年月	薬効区分	15年度	16年度	17年度	対前年同期	
アジルバ <sup>(注)</sup>	(12. 5)	高血圧症治療剤	590	669	730	61	9.1%
タケキャブ <sup>(注)</sup>	(15. 2)	酸関連疾患 治療剤	84	341	551	210	61.6%
リュープリン (リュープロレリン)	(92. 9)	前立腺がん・乳がん・ 子宮内膜症治療剤	538	486	476	△10	△2.1%
エンブレル	(05. 3)	抗リウマチ剤	408	404	387	△18	△4.4%
ロトリガ	(13. 1)	高脂血症治療剤	223	275	321	46	16.6%
ネシーナ <sup>(注)</sup>	(10. 6)	糖尿病治療剤	369	329	301	△28	△8.5%
バクティビックス	(10. 6)	直腸・結腸がん 治療剤	184	188	189	2	0.9%
レミニール	(11. 3)	アルツハイマー型 認知症治療剤	160	174	178	4	2.6%
ロゼレム	(10. 7)	不眠症治療剤	74	81	89	8	10.4%
ベネット	(02. 5)	骨粗鬆症治療剤	97	83	75	△9	△10.2%
アドセトリス	(14. 4)	悪性リンパ腫 治療剤	31	33	38	5	16.4%

(注) 配合剤、パック製剤を含む。

◆ 医療用医薬品 国内主要品目売上高（四半期）

(億円)

発売年月	薬効区分	16年度				17年度								
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY	
アジルバ <sup>(注)</sup>	(12. 5)	高血圧症治療剤	177	156	185	150	187	5.6%	171	9.2%	210	13.5%	162	7.8%
タケキャブ <sup>(注)</sup>	(15. 2)	酸関連疾患治療剤	64	75	108	95	125	95.7%	128	72.0%	167	54.6%	131	38.4%
リュープリン (リュープロレリン)	(92. 9)	前立腺がん・乳がん・ 子宮内膜症治療剤	131	117	136	102	124	△5.3%	116	△0.5%	137	0.9%	99	△3.8%
エンブレル	(05. 3)	抗リウマチ剤	110	100	109	86	103	△6.0%	95	△5.3%	109	0.2%	80	△7.2%
ロトリガ	(13. 1)	高脂血症治療剤	68	66	78	63	79	15.6%	77	17.2%	93	19.4%	72	13.6%
ネシーナ <sup>(注)</sup>	(10. 6)	糖尿病治療剤	93	77	92	66	80	△13.8%	72	△7.3%	88	△4.4%	61	△8.0%
ベクティビックス	(10. 6)	直腸・結腸がん 治療剤	49	46	51	42	50	1.0%	47	3.3%	53	3.7%	40	△5.3%
レミニール	(11. 3)	アルツハイマー型 認知症治療剤	46	41	48	38	47	0.3%	44	6.7%	51	4.4%	37	△1.3%
ロゼレム	(10. 7)	不眠症治療剤	21	19	22	18	23	8.0%	22	14.8%	25	12.4%	20	6.4%
ベネット	(02. 5)	骨粗鬆症治療剤	23	20	23	17	20	△12.5%	19	△6.2%	21	△8.6%	15	△14.1%
アドセトリス	(14. 4)	悪性リンパ腫 治療剤	9	7	9	8	10	19.1%	9	22.8%	10	3.7%	9	22.6%

(注) 配合剤、パック製剤を含む。

## ◆ 一般用医薬品 国内主要品目売上高

(億円)

	15年度	16年度	17年度	対前年同期	
アリナミン錠剤類	252	241	259	18	7.5%
アリナミンドリンク類	149	161	150	△11	△6.7%
ベンザ類	98	100	96	△4	△4.0%
ボラギノール類	45	45	46	1	2.1%
マイティア類	42	39	42	3	6.6%
ビオフェルミン類*	86	91	41	△50	△54.5%

(注) 武田コンシューマーヘルスケア株式会社の国内売上高

2017年4月1日より、武田コンシューマーヘルスケア株式会社がジャパンコンシューマーヘルスケアビジネスユニット (JCHBU) 事業を承継し、新会社として事業を開始。

\* 武田コンシューマーヘルスケア株式会社によるビオフェルミンのOTC製品の販売は2017年9月末を以って終了。

◆ 一般用医薬品 国内主要品目売上高（四半期）

（億円）

	16年度				17年度							
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YOY	Q2	YOY	Q3	YOY	Q4	YOY
アリナミン錠剤類	61	62	68	49	76	23.8%	64	1.9%	70	4.1%	49	△0.7%
アリナミンドリンク類	51	40	42	28	40	△21.9%	41	2.1%	42	1.8%	27	△4.4%
ベンザ類	13	42	32	14	12	△2.3%	39	△5.1%	30	△4.1%	14	△1.8%
ボラギノール類	11	11	13	10	11	△1.4%	11	3.4%	14	3.4%	11	2.8%
マイティア類	8	9	9	13	8	5.2%	9	3.5%	9	△5.5%	16	17.9%
ビオフェルミン類*	22	23	26	20	25	10.3%	19	△14.6%	△2	-	△0	-

（注）武田コンシューマーヘルスケア株式会社の国内売上高

2017年4月1日より、武田コンシューマーヘルスケア株式会社がジャパンコンシューマーヘルスケアビジネスユニット（JCHBU）事業を承継し、新会社として事業を開始。

\* 武田コンシューマーヘルスケア株式会社によるビオフェルミンのOTC製品の販売は2017年9月末を以って終了。



**武田薬品工業株式会社**